



特 集

●JMRAマーケティング・リサーチ綱領改訂にあたって

TOPICS

●2025年を振り返って

●開催報告：JMRAアニュアル・カンファレンス 第3回

Vol.98

2025/12/16 配信

師走の候、JMRA会員の皆さんにおかれましては、日頃より協会活動へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年も市場環境の変化が加速し、データ活用の高度化や調査手法の進化など、私たちを取り巻く環境は大きな転換点を迎えました。その一方で、人の声を丁寧にすくい上げ、社会に価値ある示唆を届けるというマーケティング・リサーチの役割は、むしろ重要性を増しているように感じます。

会員の皆さんに支えられ、JMRAとしても各種セミナーやガイドライン整備を通じ、業界発展に向けた取り組みを進めてまいりました。来年も引き続き、皆さんとともにより良いリサーチ業界の未来を築いていければ幸いです。どうぞ健やかな新年をお迎えください。

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集

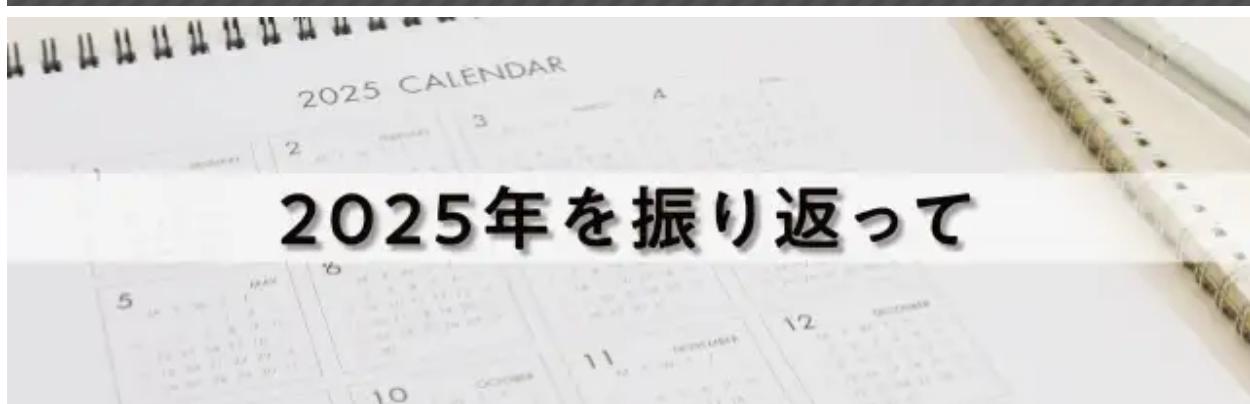


JMRAマーケティング・リサーチ綱領改訂にあたって

2025年9月26日臨時総会において、JMRAマーケティング・リサーチ綱領が改訂されました。10月2日の「JMRA アニュアル・カンファレンス 2025」の中でもご紹介しました主な変更点とその背景について改めてお伝えするとともに、カンファレンスではご紹介できなかったプロセス等の内容もご紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



2025年を振り返って

2025年2月14日、日本マーケティング・リサーチ協会は50周年を迎えました。

2025年は日本社会全体が大きな変革の年となり、マーケティング・リサーチ（以下MR）業界も新たな挑戦と機会が交錯する一年となりました。具体的には、インターネット調査の品質、MR領域のAI活用推進、MR領域の拡張とデータ倫理などをテーマとし、10月のJMRAアニュアル・カンファレンスにて様々な議論がなされました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

JMRA Annual Conference 2025

開催報告 第3回（全3回）

Next DepARTure—これまでの50年、これからの50年—

開催報告：JMRAアニュアル・カンファレンス 第3回（全3回）
「新産業ビジョン」および「新綱領」を公開

10月2日（木）、明治記念館（東京都港区）で開催された「JMRAアニュアル・カンファレンス2025」には、800名を超える皆さまにご参加いただきました。

注目セッションの一つである「～新ビジョン策定～人を・企業を・社会をインスピアする産業への進化」では、「マーケティング・リサーチ産業VISION策定委員会」がまとめた新たな産業ビジョンと、これに関連する内容が発表されました。

本レポートでは、セッションの中から、マーケティング・リサーチ産業ビジョン策定チームによる「新ビジョンの背景と発表」、そして綱領および規程類アップデートチームによる「マーケティング・リサーチ綱領改訂」について、ポイントを絞ってご紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告：西日本コラボレーション研究会周年イベント

「AIはリサーチをどう変えるのか？

技術の最前線から未来を読み解く」動画を視聴

2025年11月19日に、西日本コラボレーション研究会は年に一度実施している「周年イベント」を開催しました。

例年、講師の方をお招きしての講演会形式としていますが、今回はJMRA創立50周年を節目に開催された「JMRA アニュアル・カンファレンス 2025」のテーマのうち、会員の皆さまよりご要望の多かった「AIはリサーチをどう変えるのか？技術の最前線から未来を読み解く」の動画を視聴しました。

リアル13名、オンライン25名の計38名にご参加いただきました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

開催報告

JMRA リサーチイノベーション委員会主催
2025年度 AI・イノベーションセミナー <第2回>

AIと人間の間に生まれるもの
～Ipsosの考える質的リサーチのありかた～



11/6(木) 12:00 - 12:45 Zoom開催 講師 野口 純子 氏／デシルバ 絵里奈 氏 (イブソス株式会社)
司会 佐藤 哲也 (株式会社アンド・ティ)

開催報告：2025年度 AI・イノベーションセミナー 第2回

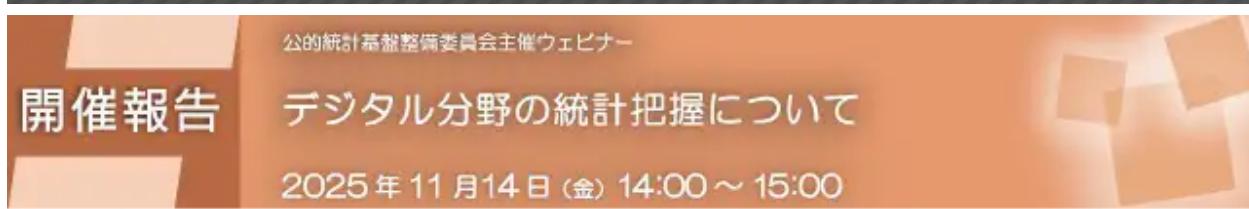
AIと人間の間に生まれるもの
～Ipsosの考える質的リサーチのありかた～

JMRAリサーチ・イノベーション委員会では、11月6日に第2回AI・イノベーションセミナーを開催しました。登壇者はIpsos定性調査部（Ipsos UU）の野口純子氏とデシルバ絵里奈氏のお2人で、グローバルかつ多彩な実験結果に基づき、人間の洞察力（HI : Human Intelligence）とAI技術をどのように使い分けていくべきかについての考察が報告されました。

なお、発表のもとになった論文は2024年のEsomar大会において最優秀論文賞を受賞しています。セミナーでは実際のケーススタディ結果を交えた知見がわかりやすく紹介され、今後の定性調査においてAIをどう活用していったらよいのか、多くの示唆を与えてくれるものとなりました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告：JMRA・公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー 第2回 「デジタル分野の統計把握について」

2025年11月14日に開催した公的統計基盤整備委員会主催ウェビナーでは、デジタル・エコノミー・サテライト(通称デジタルSUT)のフレームから電子商取引の位置づけを紹介しました。

次にデータセンターの統計上の扱い、デジタル無料生産物(SNS広告)の扱い、AIと統計調査、ビジネスレジスターでのデジタル仲介プラットフォーム企業の選別、電子商取引の定義、調査方法、電子商取引の統計的把握の到達点を紹介し、課題を整理しました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



Esomar『Global Prices Study (国際価格調査)』レポートより 国際価格相場は顕著に上昇、AIによる効率向上もコストは下がらず

2025年11月、Esomarから『Global Prices Study (国際価格調査) 2025』が発表されました。この調査は2年ごとに世界の市場調査価格の動向を追跡しているもので、今回は105カ国、426社からの見積データを集計しています。日本からご協力いただいた皆さんには、厚く御礼申し上げます。

今回の調査結果のポイントは、

- (1) 世界的にインフレ率を上回る価格上昇（特に定量調査で）
- (2) インサイト専門職の報酬の上昇
- (3) AIの導入によって効率は向上しているが、コスト削減には直結していない
- (4) 日本市場は引き続き“高価格帯グループ”に属している

といった点に集約されます。

海外調査を手がける会員社の皆さんには、ベンチマーク指標として参考にしていただけると幸いです。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告：第10回 フットサルリサーチカップ

記念すべき第10回大会は過去最多16チームが熱戦を展開！

2025年11月9日に、神奈川県横浜市で「第10回フットサルリサーチカップ」が開催されました。

雨のち曇りというコンディションにもかかわらず、2023年の大会再開後では過去最多となる11社16チームが集結し、熱戦を繰り広げました。決勝トーナメントではPK戦が続出し、最後まで手に汗握る展開に。企業間交流とスポーツの楽しさを融合した本大会は、大盛況のうちに幕を閉じました。

大会の試合内容や結果については、ぜひ本文をご覧ください。

[詳しくはこちら](#)

連 載

JMRAマーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近JMRAマーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●ChatGPTに関するアンケート調査 (2025.11.26 (株)アスマーク)

生成AIは私たちの日常にますます身近な存在となっています。

『ChatGPTの利用目的』や『具体的な相談内容』、『コミュニケーション欲求の程度』などChatGPTに対する意識や利用の実態についてアンケートをしています。

●～ブランド・キャラクターとの掛け算の実態～コラボ商品に関する調査

(2025.11.11 日本インフォメーション(株))
昨今、ブランドやキャラクターとの“コラボ商品”が消費者の注目が高まっています。本調査ではそのコラボ商品が、認知や購入意向にどのような影響を与えるのか、その実態を明らかにしています。

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

連 載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

今月の注目記事

●【受賞対談】田岡凌×木下勝寿：AI時代を勝ち抜くには？

二人が重視する「顧客理解／実行力／人材育成」

●セブン×ヤッホー「有頂天エイリアンズ」大ヒットの裏側

“300円の壁”を越えた共創と熱狂の作り方

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内



マーケティング・リサーチ エキスパートコース 多変量解析法の利活用講座

2026年1月29日(木)・2月4日(水)

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座 ~予測要因分析と構造分析の利活用~

本講座では、多変量解析の手法である「予測要因分析」と「構造分析」について学習します。

マーケティングの視点からは、検出された各要因（「独立変数」、「説明変数」）のどの要因が、どのように消費者の購買態度・行動（「目的変数」、「従属変数」）に影響を与えているのかが判明しますので、マーケティング戦略に大いに活用することができます。また、消費者の態度・行動の背景にあり、その基となる複雑重層的な要因構造を探索・究明することは、製品・サービスのターゲット層を見出し、そのターゲットをどのようなコンセプト、どのような素材や効能（コンセプト付きプロダクト）で攻略するのかというマーケット戦略の構築に大いに役立つと考えられます。

そのため、クライアント・調査会社双方のマーケティング・リサーチ計画・分析担当者にぜひ受講することをお薦めします。また、コンピュータ上で解析モデルを運用する担当者にとっても、本講座は作業内容の理解と品質向上に役立つため、受講をお薦めします。

- ・日程：2026年1月29日（木）、2月4日（水） 各日10:00～16:00
- ・会場：JMRA研修室

詳しくはこちら

お知らせ

●関東学生マーケティング大会「リサーチ賞」に協力しました

2025年関東学生マーケティング大会の最終発表が、11月29日（土）に早稲田大学にて開催されました。本大会は「リードするマーケティング」をテーマに、14大学21ゼミ60チーム310名が参加し、論文賞・リサーチ賞・プレゼン賞・総合賞を競いました。

JMRAはリサーチ賞の審査に協力いたしました。各論文とも発想が豊かで、学生らしい視点が盛り込まれており、興味深く査読することができました。

JMRAは今後も、学生によるマーケティング・リサーチに関連する取り組みを応援してまいります。

●新保史生理事が個人情報保護委員に就任されます

JMRA理事であり、慶應義塾大学総合政策学部教授の新保史生先生が、国会の承認を経て、2025年2月より個人情報保護委員会の委員に就任されることとなりました。

個人情報保護委員会は、個人情報の適正な取扱いを確保するために設置された独立行政機関であり、制度に関する企画立案や総合調整、監視・監督等を担っています。

新保先生は、これまでに培われてきた知見とご経験を生かし、日本の個人情報保護制度のさらなる充実・発展に貢献されるものと期待されています。

JMRAとしても、リサーチ業界における個人情報保護の適正な運用と推進に一層取り組んでまいります。

●事務局年末年始休業について

年末年始は、以下のとおり休業します。

2025年12月27日（土）～2026年1月4日（日）

●1月号は1月20日（火）発行予定です

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は[こちら](#)よりお願いたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは[こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-9 石川LKビル2階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。